

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年2月7日

上場会社名 株式会社ステムセル研究所 上場取引所 東  
 コード番号 7096 URL <https://www.stemcell.co.jp/corporate/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清水崇文  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長 (氏名)乃一進介 (TEL)03-5408-5325  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,579	19.9	261	55.4	263	71.6	172	76.5
2022年3月期第3四半期	1,316	23.7	168	85.5	153	60.0	97	60.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	16.81	—
2022年3月期第3四半期	9.67	—

(注) 当社は2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,589	2,269	40.6
2022年3月期	5,215	2,103	40.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,269百万円 2022年3月期 2,103百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期第(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,140	20.1	341	50.4	341	60.6	215	60.8	20.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	10,246,600株	2022年3月期	10,246,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	46株	2022年3月期	1株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	10,246,559株	2022年3月期3Q	10,090,085株

(注)当社は2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におきまして、当社のメイン事業である「さい帯血保管」サービスの認知度向上のためのデジタル・マーケティング及び2021年4月より開始した、日本初の「さい帯（へその緒）保管」サービスが着実に業績の向上に貢献し、過去最高の売上高を計上いたしました。

また、2021年3月12日付で厚生労働省（関東信越厚生局）より特定細胞加工物製造許可を取得し稼働させた横浜細胞処理センターの体制強化も順調に進んでおり、中期目標である年間約2万検体（従前の約3倍）の処理能力を既に確保しております。

3年に亘り社会経済活動に多大な影響を与えた新型コロナウイルス感染症については、5月に法律上の位置付けが見直しされる事が決まり、当社の主要なマーケティングチャネルである医療機関も正常化に向けた動きが進んでおります。これにより、本年1月に業務提携した、株式会社ベビーカレンダーとの双方向マーケティングを含めたデジタル（オンライン広告、SNS等）とリアル（産科施設内でのPR等）マーケティングが相乗効果を上げる事で、来期以降の更なる業績拡大に繋がる見込みです。

「さい帯血」を用いた再生医療分野につきましては、昨年8月に高知大学医学部附属病院小児科より、国内初となる脳性麻痺児に対する自家臍帯血投与の臨床研究（第Ⅰ相試験）の良好な結果が論文発表されました。大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学教室を中心とした多施設共同研究により進められている、低酸素性虚血性脳症（HIE）児に対する自己臍帯血幹細胞投与（第Ⅱ相試験）につきましても、初の症例に対する投与が無事終了する等、臨床研究が順調に進んでおります。

米国においては、デューク大学での第Ⅱ相試験の良好な結果を受け、同大学にて脳性麻痺児等へのさい帯血投与プログラムが進められており、当社にさい帯血を保管されている方が参加される例が増加しております。

「さい帯」を用いた研究開発につきましては、引き続き、大阪大学大学院医学系研究科スポーツ医学教室と設立した「運動器スポーツバイオメカニクス学講座」において、新たな半月板治療法の開発を推進しております。また、東京大学医科学研究所セルプロセッシング・輸血部及び東京大学医学部附属病院ティッシュ・エンジニアリング部との小児形態異常等の先天性疾患に対する治療法の開発も推進しております。

そして、「さい帯血」及び「さい帯」の培養時の生産物（エクソソーム等）を利用した当社保管者向けの事業や、大手事業会社との女性の健康に対する総合支援を行うフェムテック事業等の新しい事業も、来期のスタートに向け積極的に推進しております。

これらの活動の結果、当第3四半期累計期間における売上高は、過去最高の1,579,198千円（前年同期比19.9%増）、営業利益は261,514千円（同55.4%増）、経常利益は263,397千円（同71.6%増）、四半期純利益は172,293千円（同76.5%増）となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は5,589,417千円となり、前事業年度末に比べ373,814千円増加いたしました。流動資産は4,438,212千円となり、前事業年度末に比べ259,865千円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の取得等により現金及び預金が203,253千円減少した一方、売上の増加及び分割払いを積極的に活用したことに伴い売掛金が460,441千円増加したことによるものであります。固定資産は1,151,205千円となり、前事業年度末に比べ113,948千円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の取得により投資その他の資産が147,116千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は3,319,516千円となり、前事業年度末に比べ207,897千円増加いたしました。流動負債は3,245,340千円となり、前事業年度末に比べ193,535千円増加いたしました。これは主に、前受金が261,632千円増加したことによるものであります。固定負債は74,175千円となり、前事業年度末に比べ14,361千円増加いたしました。これは主に、役員退職慰労引当金が9,356千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,269,900千円となり、前事業年度末に比べ165,917千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の業績予想につきましては、2022年5月12日「2022年3月期決算短信」にて公表しております通期業績予想に変更はありません。なお、この通期の業績予想は、新型コロナウイルス感染症による影響が、2023年3月期末に向け緩やかに回復すると仮定し、策定しております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,511,319	3,308,065
売掛金	594,475	1,054,917
原材料及び貯蔵品	40,149	33,858
前払費用	32,295	36,802
その他	1,674	7,986
貸倒引当金	△1,567	△3,418
流動資産合計	4,178,346	4,438,212
固定資産		
有形固定資産	647,603	615,541
無形固定資産	24,670	23,564
投資その他の資産	364,982	512,098
固定資産合計	1,037,256	1,151,205
資産合計	5,215,602	5,589,417
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29,957	24,329
未払法人税等	77,903	49,993
前受金	2,745,081	3,006,714
賞与引当金	42,744	24,534
その他	156,117	139,769
流動負債合計	3,051,805	3,245,340
固定負債		
役員退職慰労引当金	8,720	18,076
資産除去債務	51,093	51,210
その他	—	4,888
固定負債合計	59,813	74,175
負債合計	3,111,619	3,319,516
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	704,805	704,805
資本剰余金	589,805	589,805
利益剰余金	809,372	981,666
自己株式	—	△91
株主資本合計	2,103,983	2,276,185
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△6,284
評価・換算差額等合計	—	△6,284
純資産合計	2,103,983	2,269,900
負債純資産合計	5,215,602	5,589,417

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	1,316,683	1,579,198
売上原価	495,020	568,901
売上総利益	821,662	1,010,297
販売費及び一般管理費	653,395	748,782
営業利益	168,267	261,514
営業外収益		
受取利息	208	1,231
還付加算金	550	—
助成金収入	85	653
営業外収益合計	845	1,884
営業外費用		
支払手数料	—	0
株式交付費	6,219	—
株式公開費用	9,378	—
営業外費用合計	15,597	0
経常利益	153,514	263,397
税引前四半期純利益	153,514	263,397
法人税、住民税及び事業税	48,067	85,876
法人税等調整額	7,856	5,227
法人税等合計	55,924	91,104
四半期純利益	97,590	172,293

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



## (重要な後発事象)

## (株式分割及び定款の一部変更)

当社は、2022年11月8日開催の取締役会において、株式分割及び定款の一部変更を行うことについて決議いたしました。

## 1 株式分割について

## (1) 株式分割の目的

株式を分割することにより、発行済株式総数を増やし、投資単位当たりの金額を引き下げることで、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

## (2) 株式分割の概要

## ① 分割の方法

2022年12月31日(土曜日)(当日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2022年12月30日(金曜日))を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

## ② 分割により増加する株式数

① 株式分割前の発行済株式総数	5,123,300株
② 今回の分割により増加する株式数	5,123,300株
③ 株式分割後の発行済株式総数	10,246,600株
④ 株式分割後の発行可能株式総数	38,920,000株

## (3) 分割の日程

① 基準日公告日	2022年12月15日(木曜日)
② 基準日	2022年12月31日(土曜日) ※基準日当日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2022年12月30日(金曜日)となります。
③ 効力発生日	2023年1月1日(日曜日)

## (4) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、当該箇所に記載しております。

## 2 定款の一部変更について

## (1) 定款変更の理由

上記の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2022年11月8日開催の取締役会決議により、2023年1月1日(日曜日)をもって、当社定款第6条を変更し、発行可能株式総数を変更するものといたします。

## (2) 定款変更の内容

(下線は変更部分を示します。)

変更前	変更後
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>19,460,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>38,920,000株</u> とする。

## (3) 定款変更の日程

定款変更効力発生日 2023年1月1日(日曜日)

## 3 その他

## (1) 資本金の額の変更

今回の株式分割に際しまして、当社の資本金の額の変更はありません。